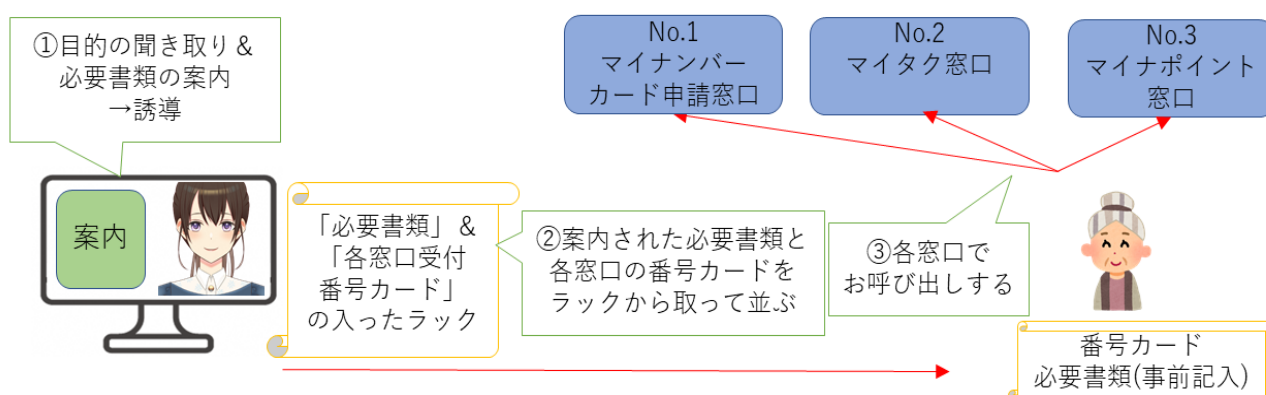


自立型対話A Iによる案内システムの実証実験

1 概要

前橋市役所1階マイナンバーカード総合支援窓口において、自立型対話A Iを案内役として配置する試みを行います。実証実験で使用する自立型対話A Iは、高崎健康福祉大学の中村研究室が開発したものです。実験開始からの約3週間は、実際の会話データを収集するため、不定期に中村研究室の学生がシステム内のキャラクターを操作し、案内を行います。その後、収集した会話データをもとにシステムの再構築を行い、自立して対話案内を行うことができる自立型対話A Iを開発・稼働します。

<イメージ図>



2 目的

市役所窓口は混雑時に多くの待ち時間を要することがあるため、窓口の混雑を緩和させることを目的として開発されました。A Iを活用した窓口案内を確立することで、職員が対面での市民サービスに注力できるように、窓口業務の改善を図ります。

3 スケジュール

質問収集期間 : 10月 5日(月) から10月22日(木)まで
システム再構築期間 : 10月23日(金) から11月13日(金)まで
自立型A I稼働期間 : 11月16日(月) から

4 設置場所

市役所1階 マイナンバーカード総合支援窓口 デジタルサイネージ

5 今後の展望

総務省が定めた「デジタル・ガバメント実行計画」において、行政手続きをオンライン等の非対面化することが求められています。本事業では、将来的に、市役所に来ることなく、自宅から対話型A Iを通じて行政手続きが行えるシステムの構築を目指します。